

2019 年度

事業計画書

2019 年 1 月 1 日から
2019 年 12 月 31 日まで

公益財団法人 さわかみオペラ芸術振興財団

2019 年度 事業計画書

- 1 世界レベルのオペラを日本に招聘し、国内各地で公演するための企画から開催までの支援並びに主催する事業：定款第 4 条 1 号事業

イタリアトップクラスの歌劇場との交流を深めつつ、ボローニャフィルハーモニーをはじめとする一流のオーケストラ・歌手・合唱・演出家・舞台監督・照明などを招聘し、野外オペラ公演を中心とした自主公演であるジャパン・オペラ・フェスティバルを実施することで日本でのオペラ文化・芸術の振興を図ります。

また地方に住む市民の方々に世界トップレベルの文化・芸術に直接触れる機会と場を提供し、日本各地でオペラ文化や音楽芸術の啓蒙と普及を図ります。

主な事業

(1) ジャパン・オペラ・フェスティバル 2019

2019 年度もボローニャフィルハーモニーと共同し、9 月に名古屋城天守閣前広場にて野外オペラ公演「蝶々夫人」を行う予定です。2018 年に開催したジャパン・オペラ・フェスティバルにおいて名古屋城を借景とした野外オペラは素晴らしい公演になりました。一部日程は雨天中止となりましたが、名古屋市民の方々も「素晴らしい公演でした。また名古屋で是非！」「見ることができず残念。来年以降も必ず開催してください！」といった『名古屋で開催してほしい。』との声が多く、文化の意識も高まっています。

名古屋は一大経済都市ですが、音楽ホールや劇場が人口の割に少ないです。一方で音楽大学もあり、音楽教育に力を入れています。市民の方々も東京などに積極的に公演を観に行かれる方もおり、今後オペラ文化がさらに発展していく土壌は十分です。文化都市としてさらに発展したいと望んでいる名古屋市の考えともマッチしており、来年も名古屋で開催する運びとなりました。

(2) ジャパン・オペラ・フェスティバル 2019 プレイベント

ジャパン・オペラ・フェスティバル 2019 で行われる「蝶々夫人」について講師による解説とオペラ歌手によるコンサートを行い、演目の知識の向上を目的としています。

初めて見る方が「オペラって難しい。」と思うようでは、オペラ文化の裾野はいつまでたっても広がりません。オペラ『蝶々夫人』の時代背景から紐解き、キーポイント・キーパーソンを分かりやすく解説するセミナーはいつも好評です。本番の公演をより一層深く理解できるイベントになっています。また、イタリアから戻ってきた、またはこれからイタリアに送り出される当財団研修生を中心にして様々な歌手に出演機会を作ってあげることも目的の一つです。

2 日本でオペラ文化を広めるための各種啓蒙活動に係る事業：定款第4条2号事業

オペラ文化を広めるため、地方公演や体験活動等を通して、オペラ文化に関する知識の向上を図る事業を実施します。

主な事業

(1) 東京 ボローニャフィルハーモニー首席コンサート

イタリアトップクラスの実力をもつボローニャフィルハーモニーの首席クラスを数名招聘しコンサートを行います。オーケストラのような大編成だけでなく、一人一人がソリストとしての実力を持つ首席たちによる重奏は、初めて聴く方はもちろん音楽マニアにとっても「最高の演奏・音色」と感じていただけるプログラムとなっています。

(2) 喜多方 酒蔵オペラコンサート

会津 喜多方にある「大和川酒造」の酒蔵でのコンサートを開催します。オペラはホールや劇場で行うとするイメージが一般的な中、歴史ある酒蔵で行う「お酒」と「オペラ」のコラボは地元の方々の注目を集めます。昨年行ったこのコンサートでは急遽座席数を増やすまでになり、大好評を博しました。

地元の方々から「機会が少なく、このような公演があれば毎年でも聴きたい。」といった声も数多く寄せられ、地方公演を行うことで多くの人のもとに文化を届けることの大切さを感じました。

(3) 徳島 イタリアオペラコンサート

昨年から行っている“さわかみオペラ芸術振興財団からはじまる『最高の音楽の旅』”シリーズ、そのうちの 하나가徳島でのイタリアオペラコンサートです。地元の若手経営者たちの「もっと徳島を盛り上げたい！」を応援させてもらおうではじまったものです。これまで2回の公演で地元での人気も高まっており、来年は500人の参加者にオペラ文化を楽しんでもらうべく実行委員会を立ち上げました。

3 日本のオペラ文化を高めるための人材や才能を教育ならびに支援する事業：定款第4条第3号事業

年齢や所属などを制限しないオープンながら厳正なオーディションを実施し、世に埋もれている歌手や音楽家を発掘します。また、そこで見つけた才能ある音楽家たちをイタリア中心に世界各地に留学させ、世界に羽ばたかせるよう支援するなど、さまざまな人材の育成を行うことによって日本のオペラならびに音楽界全体の活性化を図ります。

主な事業

(1) 歌手・ソリスト留学助成・キャストオーディション

国際的な舞台で活躍する歌手の発掘・育成・支援を目的としており、日本での名声や実績にとらわれることなく実力を見て審査します。過去の合格者も「すでに国内外で活躍している者」から「自身の才能を開花すべく挑戦してきた者」まで、あらゆる立場の歌手が選抜されました。

今年は歌手だけにとどまらず楽器演奏家も含めた「留学助成オーディション」と国内唯一の野外オペラである「ジャパン・オペラ・フェスティバル キャストオーディション」を主体に様々なオーディションを行います。

(2) 楽器奏者のマスタークラス

今まで育成の主軸は歌手に置かれてきました。しかし、2年前にサウジアラビアで行った「ジャパン・フェスティバル・オーケストラ」では、日本人の演奏家としての力量を世界に発信できました。現に「ジャパン・オペラ・フェスティバル」の際もボローニャフィルハーモニーに認められた演奏者は共演しています。

ボローニャフィルハーモニー管弦楽団の首席のような世界レベルの方々によるマスタークラスを行い、実力を磨けたことも原因の一つです。そして、世界に誇れる演奏家を育成することが目的です。

(3) オペラツアー

オペラに興味があり、日本にオペラ文化を広めたい意識のある方を対象にイタリアの歌劇場にてオペラを体験・勉強してもらいます。オペラ発祥の地であるイタリアとの違いを感じてもらったり、留学助成の奨学生に現地での話を聞いて、オペラについてより深く理解してもらったりします。当財団の目的を理解し、活動を支え日本にオペラ文化を広めていただけるようなプログラムを組みます。

4 その他当法人の目的を達成するために必要な事業：定款第4条第4号事業

設立時の目的の一つでもあった、世界の人々に愛される日本語オペラの制作。当財団が独自に日本語オペラを制作し、日本のみならず世界各地で公演する。さらには、その日本語オペラが世界中で公演されることにより、日本人歌手たちがより世界で活躍できる機会を作っていきます。

主な事業

(1) オペラ『MITSUKO』制作事業

EUの礎を築いたりヒャルト・クーデンホーフ＝カレルギー伯爵の母「光子」。今では『EUの母』とまで言われておりますが、彼女の人生は順風満帆だったわけではありません。まずは、彼女の壮絶な人生を題材としたオペラの脚本の制作など、土壌づくりを行っていきます。

5 年間スケジュール

平成31年度（2019年度）事業開催予定		
日時	事業名	実施場所
1月22,23,24日	留学助成オーディション キャストオーディション	東京
2月上旬	留学助成オーディション キャストオーディション	イタリア
3月2日	ボローニャフィルハーモニー 首席コンサート	未定
3月3,4,5日	弦楽器オーディション	未定
3月6日	弦楽器マスタークラス	未定
5月18,日	喜多方 酒蔵オペラコンサート	福島
6月～8月	【ジャパン・オペラ・フェスティバル 2019】 プレイベント	東京・京都 ・名古屋
9月26,27,28,29日	【ジャパン・オペラ・フェスティバル 2019】 オペラ公演	名古屋
11月下旬もしくは 12月上旬	徳島 イタリアオペラコンサート	徳島
12月	オペラ「蝶々夫人」ハイライト形式	東京